

この説明文書は本剤とともに保管し、服用の際には必ずお読みください

総合感冒薬 **カゼチームプロ**

第2類医薬品



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください

- (1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3) 15才未満の小児。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください

他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬（鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬）

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください(眠気があらわれることがあります。)

4. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください

5. 服用時は飲酒しないでください

6. 5日間を超えて服用しないでください



相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 高齢者。
- (4) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
- (5) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (6) 次の症状のある人。 高熱、排尿困難
- (7) 次の診断を受けた人。

甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、緑内障、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病

(8) 次の病気にかかったことのある人。

胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師又は薬剤師に相談してください

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、口内炎
精神神経系	めまい
そ の 他	目のかすみ、耳なり、排尿困難、むくみ

まれに次の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。
腎障害	尿量が減り、全身のむくみ及びこれらに伴って息苦しさ、だるさ、悪心・嘔吐、血尿・蛋白尿等があらわれる。

裏面もお読みください

無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、悪心・嘔吐等の症状があらわれる。（このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている。）
間質性肺炎	空せき（たんを伴わないせき）を伴い、息切れ、呼吸困難、発熱等があらわれる。（これらの症状は、かぜの諸症状と区別が難しいこともあり、空せき、発熱等の症状が悪化した場合にも、服用を中止するとともに、医師の診療を受けてください）
ぜんそく	

(2)5～6 回服用しても症状がよくならない場合

（特に熱が 3 日以上続いたり、又熱が反復したりするとき）

- 3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強がみられた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください**
便秘、下痢、口のかかわき

成分及び分量 本品1日量(6カプセル)中

イブプロフェン…………… 450.0mg・クロルフェニラミンマレイン酸塩……………7.5mg
ジヒドロコデインリン酸塩…………… 24.0mg・dl-メチルエフェドリン塩酸塩…………… 60.0mg
無水カフェイン…………… 75.0mg・リボフラビン…………… 12.0mg
添加物として、D-マンニトール、カラギーナン、ソルビタン脂肪酸エステルを含有します。

〈成分及び分量に関連する注意〉

本剤に配合されているリボフラビン（ビタミンB₂）により、尿が黄色くなることがあります。

効能又は効果

かぜの諸症状（のどの痛み、発熱、悪寒、頭痛、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、せき、たん、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

用法及び用量

次の量を、食後なるべく 30 分以内に服用してください。

成人（15 歳以上）…………… 1 回 2 カプセル …… 1 日 3 回
15 歳未満…………… 服用しないこと

〈用法及び用量に関連する注意〉

(1)用法及び用量を厳守してください。

(2)カプセルの取り出し方

右図のようにカプセルの入っている PTP シートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出してお飲みください。（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります。）

〈PTP シートの取り出し方〉



保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わります。）
- (4)使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

■お問い合わせ先

大協薬品工業株式会社 お客様相談窓口 電話：076-479-1313
受付時間 9:00～17:00(土、日、祝日を除く)

■副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話：0120-149-931（フリーダイヤル）